生活のきまり

みんなが 安心して気持ちよく過ごせる学校にするためのきまりです。

みんなの*がで、よりよい養太小学校にしていきましょう。

1. 登下校

- ・学校で決められた通学路を通って、登下校しましょう。
- 通学の途中に寄り道をしたり、忘れ物をとりに帰ったりしないようにしましょう。
- ランドセル等で登下校しましょう。
- ・ 8時から8時10分の間に学校に着くように登校しましょう。
- ・ 登校は、通学班で2列(雨の日は1列)で歩きましょう。
- ・ 下校は、一人で帰らないように、同じ方向の子と誘い合って帰るようにしましょう。
- · 下校時刻
 - ★水曜日は.

5 限 終 了 (全学年) 2 時 2 5 分下校

★月・火・木・金曜日は,

5限終了学年 2時45分下校

クラブ・委員会がある学年 3時40分下校 です。

※ 下校後、 だれ物を学校にとりに来たときは、職員室で先生に用件を伝えてから教室に行く ようにしましょう。

2. 校内生活

- ・ 放送をよく聞き,そうじの時間いっぱいまで,黙々とそうじをしましょう。
- ・ チャイムがなったら、素草く行動しましょう。放送は、動きをとめて聞きましょう。
- ・ 学校の物を大切にし、あと芹づけをきちんとしましょう。
- 運動場で安全に楽しく遊びましょう。
- ・ろうかや階段は、右がわを静かに歩きましょう。
- ・特別教室への移動は、静かに並んで行きましょう。

しつれいします。

○ねん○くみ○○○○です。

- △△しつのかぎをとりにきました。
- □□せんせいおねがいします。しつれいしました。
- ・ 学習に関係のない物は、もってこないようにしましょう。(キーホルダーは1つまで)
- ・ 首分の持ち物には、名前を書きましょう。文房具では遊びません。
- 水筒は肩からかけられる、ひものついたものにしましょう。
- ・ 雨の日や水たまりが多いときは、運動場を使えません。過ごし方を考えましょう。
- ボールやなわとびなどは、運動場に出てから使いましょう。
- ドアやかべ(東・西体育倉庫、トイレ)に、ボールをぶつけてはいけません。
- はきもの(上ぐつ・運動ぐつ・トイレのスリッパ)をそろえましょう。



- ・ 特別教室や他のクラスへは無断で入らないようにしましょう。入る場合は先生の許可を得ましょう。
- ・「交舎の東側にある運動場への通路は使えません。体育館の前を通りましょう。
- ・ 校舎北側の小運動場では、ボール遊びはしません。

3. 服装

- ・ 体育のときには、決められた体操服を着ましょう。
- ・ 上ぐつや体育館シューズは無地(白)のもので、名前を必ず書きましょう。 (前と後ろ2カ所に)
- ・ 学習の場としてふさわしい解装や髪型を心がけましょう。 (髪を染めたりしないようにしましょう。)

4. 校外生活

- ・外出するときは、行き先、首的、帰る時刻を家の人に伝えましょう。
- ホイッスルをもって外出しましょう。
- 予どもだけで校区外へ行かないようにしましょう。
- ・ 子どもだけで、大型店・映画館・飲食店・ゲームセンター (ゲームコーナー) など へ行かないようにしましょう。
- ・ 暗くなるまでに帰りましょう。では、子どもだけで外出してはいけません。外拍もしては いけません。
- ・子どもどうしで海、川、池など危険な場所には、行ってはいけません。
- ・ プール・海水浴場以外では、泳いではいけません。 (長太の海岸では、泳いではいけません)
- ・ 子どもだけで,火を使う遊びをしてはいけません。
- ・ 道路や髭[゙]草場[°]でのローラーブレードやスケートボード, ´´j ボードなどの遊びはしてはいけません。
- ・ 知らない人にさそわれたり、道を聞かれたりしても、絶対についていってはいけません。
- ・「何かあったら、遊くの家や「子どもをまもる家」に、助けをもとめましょう。
- 第のないときは、

 だやスーパー、コンビニに

 行かないようにしましょう。
- お金や物の貸し借り、やりとり、おごり合いはしません。
- ・ 学校に乗ってきた首転車は、校開わきに置きましょう。 (体育館花のフェンスぞい、学校西のネット箭)
- ・ 運動場では、自転車に乗らないようにしましょう。
- ・ 下校後や休日に、運動場で飲食をしないようにしましょう。

5. 交通安全

- 自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶります。
- ・ 自転車の二人乗り・片手乗り・遊び乗りなどの危険な乗り方は,絶対にしてはいけません。
- ・ 学校の東側の道を渡るときは、自転車を押して歩道橋や横断歩道を渡ります。
- ・ 学校の西の県道では、気をつけて自転車に乗ります。
- ・ 県道の横断には、とくに気をつけて渡ります。
- ・ 自転車は、きちんと整備されたもので、体にあったものに乗ります。

